

会場 新潟県紫雲寺記念公園

委員会報告：

雑誌委員会 「ロータリーの友」事務所より健康ひとくメモの執筆依頼とハガキが来ております。ご協力をお願いします。

ライラ委員会 ライラ研修9/29～10/1 妙高で開催されます。参加研修生を募集いたしますのでご協力をお願いします。

ニコニコボックス：	11日現在累計 40,000円
-----------	-----------------

山崎 勲 君 酒井さん遠い所からおいでいただき、ありがとうございました。卓話に期待しております。

中條 耕二 君 山崎会長さん・外山幹事さん一年間ご苦労様です。

馬場直次郎 君 今朝、免許センターへ行く途中、海老ヶ瀬ICで4台の玉突き事故があり2時間もかかり、やっとセーフになりました。やはりもう少し余裕をもって出かけるべきであったと反省しきりです。

大野 新吉 君 本日は山崎年度に入ってから2回目の例会。記念すべき初回例会には私用で欠席させていただきました。山崎丸の出航をお祝いして、そして今日の卓話、酒井様の「カマキリの予知能力に迫る地中からのメッセージ」期待しております。

坂内 康男 君 台風シーズンに入りました。8日クリーンデー中止になり、昼より台風のおかげでエゴ草取をしました。あまりにも取れ、9日朝五時出発、日曜日も良く取れ、皆様も台風がきたら、行って見て下さい。

久保 博 君 BOXに協力

* 本日の食事:和定食（お造り、穴子天ぷら、小鉢、お新香、味噌汁、ご飯）ぶどう

卓 話： 「カマキリの予知能力に迫る地中からのメッセージ」

（株）酒井無線代表取締役 工学博士 酒井與喜夫様



皆さんこんにちは。ただいま紹介いただきました、酒井でございます。

私は無線関係の仕事で電気に関係しているわけですが、電気も天気も似たようなものだろうと言うことで、天気の方を少し話をさせていただきます。

こんなことを始めましたのも、皆さんご記憶のことと思いますが、昭和38年に「サンパチ豪雪」と言う大雪に見舞われたわけですが、長岡では3m18cm、こちら三条ではもっと余計だったんじゃないかなと思います。長岡では2.3倍くらい、例年値に対しての値なんですが三条はきっと5～6倍は行って

たんじゃないかなと思います。ちょうどテレビが映り始めて間もないことで、アンテナが全部ダメになった・取り替えてもすぐ故障する。当時の月収が1万そこそこの時代で、5～6万の物を買うわけですから、今で高級車を買ったと同じような感覚だったろうと思います。ラジオの時代からテレビに移り、劇場が茶の間に入ってきたのですから、これは大変な喜びようでした。が、悲しいかな雪のためにアンテナが全部ダメになる。資材を積んだ列車は高崎・前橋あるいは福井あたりで立ち往生している。と、そんなことで随分不便な思いをした経験があるのですが、なんとかこれを事前に予測できないか。在庫が切れないように、また、事前に対応出来たらどんなによろしいことか。と言うようなことから関心を持ち始めたんです。

沢山の言い伝えがある中で、筆頭に「カマキリの巣が高いと雪が多い」「モズの巣のハヤニエに、ドジョウ・蛇・蛙を枝に刺してある現象が沢山見られる時は雪が多い」、夏場になり「鳥の巣が高いと大雨になる」「蜂が河原に巣を造ると干ばつ恐れがある」、また海の魚や、色んなものにも言い伝えがあります。これらも、気象庁の方で理学博士のダイゴヨシヤス先生（健在であれば90歳くらい）が、各出先（転勤すること11回）で地域にまつわる言い伝えをまとめられた本があります。「天気予知諺」（全2冊）。これを話すだけでも丸一日かかってしまうと思います。現代人は形や計算をして見せないと、納得できない傾向がありますけれども、ここまで言うからには何かあるだろう!?と言うことで始めてみたんです。

長い間（間もなく40年間）やっておりますと、間違いなく相関関係ありと言う結論に達しております。

カマキリの産卵する生態状況の高さにより、雪が多いか少ないかがわかる。産卵する時期が早いか遅いかによって、初雪等がわかる。その他、鳥の飛ぶ姿が見られなくなったら、台風が強烈なものになってくる。（台風が九州あたりにきているのに、鳥が悠々飛び回っていたら殆ど影響がない。2～3日前の場合でも同じである。）

ところで、どうして動物はそんなことを知っているのか？人間は昔から空を見上げては天気を予測してきた。江戸時代後半あたりから天気予報らしきものが出てきております。明治はいささか曖昧なものであり、戦後は人工衛星を使い、詳細に出てきてはおりますけれども、ここ15年くらい前からスーパーコンピューターでも長期予測は出来ず、仮に出来たとしても、計算式が全く従来のものとは違い、日本の気象庁もお手上げ状態なわけなんですね。どうしてかと言うと、ここ百年で過去1万年分の気象の変化に相当しているということなのです。

カマキリの巣の高さにより、積雪が予測できるというのは、昔から言われていますが、9～10月になると、さかんに卵を産みます。淡々と産んでいるのではなく、ある時期になると集中的に産んでいます。一番神秘的に思いますのは、雨の降らない時間帯を正確に把握しているということなのです。卵を産み始めてから終わるまで、約4時間くらいかかりますけれども、天気の移り変わりの激しい秋です。産卵は朝や昼や夕方からになることもあります。要するに、雨の降らない時間を正